61 米大統領，一般教書演説を実施

Track No. 61

Bush makes State of the Union address

WASHINGTON — President George W Bush made his State of the Union Speech on Feb. 2, spanning problems in the United States and abroad.

It was the first State of the Union address since the Sept. 11 attacks in New York that focused heavily on domestic issues.

Bush covered issues such as reforming the nation's expensive social security program, liberalizing the nation's immigration laws, simplifying taxes and extending the tax cuts put in place during his first term.

On international issues, the president made no reference — despite criticism from Democrats — on a timetable for withdrawing troops from Iraq. He also singled out Syria and Iran, when he promised to tackle regimes that promote terrorism and pursue weapons of mass destruction.

(February. 22, 2005)

▶▶▶注意したい文法

Bush covered issues such as reforming the nation's expensive social security program, liberalizing the nation's immigration laws, . . .

『ブッシュ大統領は，高額な社会保障制度の改革，移民法の緩和一などについて言及した』

▶ such as ...で「…などの」という意味で，例を挙げるときに用いられる。ここでは，such as A, B, C, and D と 4 つの例があげられている。

☑ 語句のチェック

- ☐ domestic issues　国内問題
- ☐ liberalize [líbərəlàiz]　…を緩和する
- ☐ immigration law　移民法
- ☐ simplify [simplifài]　…簡素化する
- ☐ tax cuts　減税
- ☐ international issues　国際問題
- ☐ make reference on ...　…に言及する
- ☐ Democrats　民主党
- ☐ withdraw troops from ...　…から軍隊を撤退させる
- ☐ single out　…を選び出す
- ☐ regime [rəʒíːm]　体制
- ☐ weapon of mass destruction　大量破壊兵器

KEY WORDS

- ☐ **State of the Union address**「一般教書演説」
  米国で大統領が，年頭に連邦議会の上下両院合同本会議で行う演説。合衆国憲法に基づいて行われ，内政，外交の施政方針を説明する。
- ☐ **Sept. 11 attacks in New York**「ニューヨークが攻撃を受けた 9.11 事件」
  米国では，9/11 families（9.11 事件で身内を亡くした家族）のように 9/11 だけでもこの事件を指す。この同時多発テロにより，ブッシュ政権はテロとの戦いを最重要課題として取り組み，アフガニスタンやイラク戦争を遂行した。
- ☐ **social security program**「社会保障制度」
  ブッシュ大統領は，財政が悪化している社会保障制度を改革するために，従来の確定給付・賦課方式の社会保障年金制度の一部に，任意加入の確定拠出型の個人勘定（Personal Retirement Accounts）の導入を 2005 年の一般教書演説のなかで提唱した。
- ☐ **regimes that promote terrorism**「テロ支援国家」
  米国務省（State Department）は 1993 年以来，国際テロリズム報告書で「テロ支援国家」を指定している。2005 年の報告書では，北朝鮮，イラン，シリア，リビア，スーダン，キューバの 6 カ国を指定。

ニュースの背景　2 期目のブッシュ政権

2005 年 1 月 20 日，ブッシュ大統領は就任式を行い第 2 期目の政権が発足した。第 1 期からの方針に大きな変更はないが，各国との協調により重点を置くと述べている。内政では，株式や住宅の所有を奨励する経済政策を掲げながら，公的年金制度改革や財政改革，税制改革などを打ち出している。

●全訳……ブッシュ大統領，一般教書演説を実施

【ワシントン】ジョージ・W・ブッシュ大統領は 2 月 2 日，一般教書演説を行い，米国内外のさまざまな問題について言及した。

ニューヨークがテロ攻撃を受けた 9.11 事件以降，一般教書演説で国内問題に焦点が当てられたのは今回が初めて。

ブッシュ大統領は，高額な社会保障制度の改革，移民法の緩和，税制の簡略化や第 1 期に導入した減税の延長について言及した。

国際問題については，民主党の批判にもかかわらず，大統領はイラクからの撤退の時期について何も触れなかった。また，テロ支援や大量破壊兵器の開発を続ける国に立ち向かう決意を示したが，その際，シリアとイランを名指しした。